

平成 19 年度 事業報告書

(平成 20 年度事業計画書)

第 5 回定時総会

平成 20 年 6 月 26 日

特定非営利活動法人日本インターネット医療協議会

ご挨拶

平素は、日本インターネット医療協議会(JIMA)に格別のご支援、ご高配を賜り誠に厚く御礼申し上げます。

JIMA では、昨年度は 19 年度事業計画に沿って、特定非営利活動に係る三つの事業を中心に活動を行って参りました。

まず、eヘルス倫理コードによるサイトの審査認定事業では、最近のインターネット医療の環境変化に合わせて、前年度からの作業で改訂された eヘルス倫理コード 2.0 に基づくサイトの審査及びトラストマーク付与の認定を、新規・更新あわせて 11 件行いました。また、JIMA トラストプログラムの普及促進に向けて、医療機関等への DM 送付等のプロモーション活動を行いました。そして、JIMA 会員及び一般の人を対象とした研究会(インターネット医療フォーラム 2007)を平成 19 年 11 月に開催、患者・市民の立場、IT を活用した情報サービスを提供する企業等の立場から多様な演題発表をいただきました。

また、これは新たな取り組みですが、平成 19 年度から始まった国の医療機能情報提供制度に関連して、地域の患者・住民向けに実際にどのような情報提供が行われ始めているかを調べるため、都道府県の該当サイトを調査する研究事業を行いました。

平成 20 年度は、これらの成果を踏まえ、JIMA トラストプログラムのさらなる普及促進に向けて、関係各方面への広報・周知に努めるとともに、個別・重点的なプロモーション活動に力を入れて参りたいと考えています。また、公的な立場から患者・住民に対し、信頼性ある客観的な医療情報を提供していくことが期待される都道府県の医療機能情報提供制度の実施状況や該当サイトを本格的に調査・評価する研究事業に取り組んでいく計画です。これらにより、民間 NPO としての JIMA の社会的役割を高めていく契機となっていければと願っています。

会員各位、並びに関係者の皆様におかれましては、新年度も何卒引き続きご支援、ご指導を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

平成20年6月26日

特定非営利活動法人日本インターネット医療協議会
理事長 辰巳治之

平成 19 年度事業概要報告

(自平成 19 年 4 月 1 日 至平成 20 年 3 月 31 日)

1. 事業成果

平成 19 年度は、信頼性のある Web サイトの運用基準を示す e ヘルス倫理コード Ver2.0 によるサイトの審査認定(トラストマーク付与)事業を行うとともに、JIMA トラストプログラムの普及促進に向けて、医療機関等への DM 送付等のプロモーション活動を行った。また、国の医療機能情報提供制度に関連した調査を行ったほか、JIMA 会員及び一般参加者も対象とした医療分野での IT 利用に関する研究会(フォーラム)を開催した。

2. 主な事業の詳細

1) e ヘルス倫理コードによるサイトの審査認定事業

Ver2.0 へと改訂なった e ヘルス倫理コードに基づき医療系サイトの審査を行い、基準への準拠が認められるサイトにトラストマークを付与する審査認定事業を行った。新規が 3 件、更新が 8 件だった。

2) 研究会(フォーラム)の開催

JIMA 会員及び一般の人を対象とした研究会(インターネット医療フォーラム 2007)を、平成 19 年 11 月 28 日に、東京・晴海において開催した。患者・市民の立場、IT を活用した情報サービスを提供する企業等の立場から、全部で 9 題の演題発表を集めることができた。

3) 都道府県における医療機能情報提供制度の実施状況調査

平成 19 年度から始まり 20 年度から本格展開する国の医療機能情報提供制度に関連して、地域の患者・住民向けに実際にどのような情報提供が行われ始めているかを調べるため都道府県の該当サイトを調査した。

4) その他、本協議会の事業目的に定める事項の推進実行

本法人の趣旨・活動状況に関し、関係各方面への広報に努めるとともに、他の関連団体や組織との交流、情報交換を積極的に行った。

平成19年度 事業報告書

平成 19年 4月 1日から 平成20年 3月 31日まで

特定非営利活動法人 日本インターネット医療協議会

1 事業の成果

平成19年度は、信頼性のあるWebサイトの運用基準を示すeヘルス倫理コードVer2.0基準によるサイトの審査認定(トラストマーク付与)事業を行うとともに、JIMAトラストプログラムの普及促進に向けて、医療機関等へのDM送付等のプロモーション活動を行った。また、JIMA会員及び一般参加者も対象とした医療分野でのIT利用に関する研究会(フォーラム)を開催した。さらに、国の医療機能情報提供制度に関連して、地域の患者・住民向けに実際にどのような情報提供が行われ始めているかを調べるため都道府県の該当サイトを調査した。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	内 容	実 施 日 時	実 施 場 所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
サイト認定事業	サイトの審査認定及びトラストマークの付与	通年	インターネットにより特に限定なし	8名	医療機関、企業、団体、市民等	62
研究会事業	医療分野でのIT利用に関する研究会(フォーラム)の開催	11月28日	東京	5名	医療関係者、企業、市民等 35名	13
医療機能情報提供制度実施状況調査	都道府県の医療機能情報提供サイトの調査・評価	1月 (~4月)	東京	2名	患者・市民等	0

(2) その他の事業

事業名	事 業 内 容	実 施 日 時	実 施 場 所	従事者の人数	支出額(千円)
病院のIT業務分析	病院におけるIT業務の分析レポート作成	10月	東京	2	180

特定非営利活動に係る事業会計収支計算書

NPO法人日本インターネット医療協議会

(単位：円)

自 平成19年 4月 1日 至 平成20年 3月31日

《経常収支の部》

[経常収支の部]

【経常収入】

入会金収入	14,000
正会員会費収入	99,000
賛助会員会費収入	300,000
寄付金収入	367,251
サイト認定事業収入	429,580
研究会事業収入	38,000
その他事業収入	209,895
受取利息収入	101

経常収入 計

1,457,827

【事業費】

事業費 計

0

【管理費】

事務受付費	600,000
通信費	116,176
旅費交通費	78,320
会議費	105,166
事務用品費	7,296
印刷費	39,357
事務所賃借費	360,000
コンピュータ関連費	53,800
振込手数料	7,087
雑費	249,272

管理費 計

1,616,474

経常収支差額

△158,647

[その他資金収支の部]

【その他資金収入】

その他資金収入 計

0

【その他資金支出】

その他資金支出 計

0

当期収支差額

△158,647

前期繰越収支差額

200,877

次期繰越収支差額

42,230

特定非営利活動に係る事業会計貸借対照表

NPO法人日本インターネット医療協議会

(単位：円)

平成20年 3月31日 現在

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
【流動資産】		【流動負債】	
(現金・預金)		流動負債 計	0
現 金	14,277	負債の部合計	0
普通 預金	27,953	正味財産の部	
現金・預金 計	42,230	【正味財産】	
流動資産合計	42,230	正味 財産	42,230
		(うち当期正味財産増加額)	△158,647
		正味財産 計	42,230
		正味財産の部合計	42,230
資産の部合計	42,230	負債・正味財産の部合計	42,230

特定非営利活動に係る事業会計財産目録

NPO法人日本インターネット医療協議会

(単位：円)

平成20年 3月31日 現在

《資産の部》

【流動資産】

(現金・預金)

現金

14,277

普通預金

27,953

現金・預金計

42,230

流動資産合計

42,230

資産の部 合計

42,230

《負債の部》

【流動負債】

流動負債 計

0

負債の部 合計

0

正味財産

42,230

平成 19 年度会計決算報告

(自平成 19 年 4 月 1 日 至平成 20 年 3 月 31 日)

監事 大山 博司 殿

特定非営利活動法人日本インターネット医療協議会の平成 19 年度
会計決算を別紙のとおり報告いたします。

平成 20 年 6 月 13 日

理事長 辰巳 治之



平成 19 年度監査結果報告

(自平成 19 年 4 月 1 日 至平成 20 年 3 月 31 日)

理事長 辰巳 治之 殿

理事長から提出された平成 19 年度会計決算報告を監査した結果、
内容は正確適正であることを認めます。

平成 20 年 6 月 16 日

監事 大山 博司



会員動向報告

1. 会員数 (平成 19 年 6 月 14 日現在)

内訳	正会員	44 名
	賛助会員	5 社
	<hr/>	
合計		49 名(社)

※2 年以上の会費未納者は除外。

2. 平成 19 年 4 月以降、平成 20 年 3 月 31 日現在までの新規会員数

内訳	正会員	7 名
	賛助会員	1 社
	<hr/>	
合計		8 名(社)

平成 20 年度事業計画書

(平成 20 年 4 月 1 日～平成 21 年 3 月 31 日)

特定非営利活動法人日本インターネット医療協議会

1 事業実施の方針

平成 20 年度は、サイト認定事業とともに、JIMA トラストプログラムのいっそうの普及に向け、本プログラムの導入・運用を推奨しうる医療機関等に対し重点的なプロモーションを行っていく。また、医療機能情報提供制度に基づき、民間と異なる立場から医療情報を提供していくことが期待される都道府県の医療機能情報提供サイトを本格的に調査・評価する研究事業に取り組む。さらに、研究会事業として、秋～冬に、会員及び一般の人を対象とした医療分野での IT 利用に関する研究会(フォーラム)を開催する。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業を以下に掲げる。

事業名	事業内容	実施予定日時	実施予定場所	従事者の予定人数	受益対象者の範囲及び予定人数	支出見込み額(千円)
サイト認定事業	e ヘルス倫理コードに基づくサイトの審査及びトラストマーク付与	通年	特に限定せず	7 名	医療機関、企業、団体、市民等	180
医療機能情報提供制度実施状況調査	都道府県の医療機能情報提供サイトの調査・評価	随時	東京	3 名	患者・市民等	0
研究会事業	医療分野での IT 利用に関する研究会(フォーラム)の開催	秋～冬に 1 回	東京	5 名	医療関係者、企業、市民等 50 名	50

(2) その他の事業

なし

平成 20 年度 特定非営利活動に係る事業会計収支予算書

自 平成 20 年 4 月 1 日 至 平成 21 年 3 月 31 日

(単位:円)

科目	金額		
I 収入の部			
1 会費・入会金収入			
入会金収入	120,000		正 10、賛 2
会費収入	470,000	590,000	正 40、賛 7
2 事業収入			
サイト認定事業収入	840,000		6×12, 4×3
調査研究事業収入	0		
研究会事業収入	30,000	870,000	
3 その他収入	0	0	
当期収入合計		1,460,000	
前期繰越収支差額		42,230	
収入合計			1,502,230
II 支出の部			
1 事業費			
サイト認定事業費	180,000		
調査研究事業費	100,000		
研究会事業費	50,000	330,000	
2 管理費			
事務受付費	600,000		
通信費	100,000		
旅費交通費	100,000		
会議費	70,000		
事務用品費	20,000		
消耗品費	20,000		
新聞図書費	10,000		
印刷費	100,000		
事務所賃借費	0		
コンピュータ関連費	50,000		
水道光熱費	0		
雑費	30,000	1,100,000	
3 予備費			
予備費	20,000	20,000	
当期支出合計			1,450,000
当期収支差額			52,230
次期繰越収支差額			52,230

日本インターネット医療協議会役員名簿

平成 20 年度～21 年度

(自平成 20 年 4 月 1 日 至平成 22 年 3 月 31 日)

(敬称略、アイウエオ順)

理事長	辰巳 治之	札幌医科大学教授
副理事長	花井 荘太郎	国立循環器病センター運営局調査課
副理事長	水島 洋	東京医科歯科大学情報医科学センター准教授
理 事	伊藤 雅彦	国際医療福祉大学臨床医学センター
〃	小内 亨	おない内科クリニック副院長
〃	上出 良一	東京慈恵会医科大学皮膚科学講座教授
〃	亀田 俊忠	亀田総合病院理事長
〃	西藤 成雄	医療法人西藤こどもクリニック院長
〃	東丸 貴信	東邦大学医学部教授(新)
〃	富岡 玖夫	元・日本アレルギー学会理事長(新)
〃	中山 健夫	京都大学大学院医学研究科教授
〃	畑 直成	畑内科クリニック院長
〃	藤谷 護人	エルティ総合法律事務所(東京弁護士会)
〃	松岡 萬里野	日本消費者協会参与
〃	三谷 博明	日本インターネット医療協議会事務局長
〃	山中 昇	和歌山県立医科大学耳鼻咽喉科教授
〃	山野辺 裕二	国立成育医療センター病院医療情報室長(新)
監 事	大山 博司	両国東口クリニック副院長